

令和5年9月

魚津市定例記者会見



日時：令和5年8月31日(木) 午後1時30分～午後1時50分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、北陸中日新聞社、富山新聞社、読売新聞、NHK富山放送局、
北日本放送、新川コミュニティ放送、新川インフォメーションセンター

市当局出席者：市長、総務部長、財政課長、企画部次長(情報広報課長)

【市長からの発表事項】

1、9月市議会定例会に提案する補正予算の主な内容

(財政課)

別添資料の説明

2、令和4年度 決算の状況について

(財政課)

令和4年度一般会計の実質収支は、14.1億円となった。昨年度から3.9億減少したが、一昨年並みの実質収支の規模となった。要因としては、税収が予算よりも若干増えたことなどが主なものである。この実質収支の使い道は、物価高騰対策、除雪など見通しの難しいものに優先的に活用したい。基金年度末残高にある、公共施設整備基金については、R8年度末で20億円とする目標を設定しており、4年間で7億余りを積み立てていく目標としている。災害や物価高騰など状況を見ながらこの目標に近づけていきたい。

3、魚津市新庁舎整備に関する市民アンケート

(財政課)

新庁舎の令和11年度中の供用開始に向け、準備を進めている。今年度と来年度は基本構想等の策定に取り組んでいく。魚津市新庁舎整備に係る基本方針の1つである「一人ひとりが利用しやすく、親しみやすい、開かれた庁舎」の実現に向けて、できるだけ広く皆様のご意見をお聞きし、基本構想に反映させていきたい。

4、魚津市総合防災訓練

(総務課)

9月24日(日)にメイン会場、西布施公民館で実施する。サテライト会場は、片貝地区・加積地区・道下地区・経田地区・天神地区。市役所でも本部を置く。被害想定は、地震が発生し、魚津市で震度6弱を観測したものとして訓練する。避難所の開設が主なものであり、お子様向けのものも用意した。

5、魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト「親子体験会」

(農林水産課)

農林水産課では、魚津の農林水産業を親子で学ぶ「親子体験会」を、7つのコースで1年間にわたり行っている。9月は、「6次化」と「田んぼ」のコースで体験会を行う。

【質疑応答の内容】

○「北陸新幹線の運行内容」について

《記者からの質問》

北陸新幹線の運行内容について発表があり、「かがやき」は、富山県は1県1駅だが石川県などは今回崩れた形となる(石川県の停車駅が増えた)。県内の首長としての見解を説明していただきたい。

《回答》(市長)

来年、関電黒部ルート的一般開放が始まり、我々の最寄りの駅、黒部宇奈月温泉駅にも停車してほしいと思う。

○「令和4年度決算」について

《記者からの質問》

経済状況の悪化、コロナなどの影響の中、財政再建に取り組んできたと思うが、市の財政状況は順調なのか、市長の評価をお聞きしたい。

《回答》(市長)

順調というよりは、何とかここまでもってきているというのは率直なところ。財政調整基金は10億超を目標としているが、本来は年度間の財源調整という機能があり、多少余裕があるに越したことはない。県内の自治体で、自治体規模でみると魚津市は決して多くはない。本来は、財政調整機能を高めたいところではあるがその余裕はな

い。一方で、公共施設再編については、市庁舎だけでなく、小学校を統合した際の宿題が残っているのでしっかり対応していきたい。ここに掲げているのは最低限の目標なのでしっかりクリアできるように頑張っていきたい。

○「城端線・氷見線の再構築」について

《記者からの質問》

運行主体はあいの風富山鉄道が担うべきとの考え方が示されたが、関係ない自治体の財政的な負担も見込まれるのではないかと考えるが、どのように考えているのか。

《回答》（市長）

関係沿線の自治体が話を進めていかれると考えており、仮にあいの風富山鉄道が受けていくことになれば、全体に影響が出ないよう配慮をお願いしたいと考えている。地域交通は、地方鉄道もある、というところが本音としてはある。

○「魚津市湧水対策本部」について

《記者からの質問》

対策本部の設置が10時で、報道案内が17時で、対応が19時までとのことだった。このような緊急事案については、市民生活に直結する。速やかに報道へお伝えいただきたい。

《回答》（市長）

申し訳なかった。速やかなご案内に努めていく。